

2017-2018年度 331複合地区

第2回GMT会議議事録

日時 2017年10月11日(水) 14:00~16:30

場所 331複合地区ガバナー協議会事務局

出席者 A地区ガバナー L能澤 正明

B地区ガバナー L香川 俊雄(欠席)

C地区ガバナー L石岡 憲義

GMT MDコーディネーター L松浦 則雄

GMT A地区コーディネーター L末神 裕昭(進行)

GMT B地区コーディネーター L田村 裕

GMT C地区コーディネーター L渡部 義男(記録)

1) 会員動向についての報告

A地区の会員動向

年間新会員：150人 四半期：40名増員の計画に対して、43名増員で目標達成。
どこのゾーンも比較的伸びて、順調である。

B地区の会員動向

年間新会員：88人 四半期：17名増員の計画に対して、22名増員で目標達成。
2クラブのエクステンションとレオを増やすことで取り組んでいる。

C地区の会員動向

年間新会員：102人 四半期：25名増員の計画に対して、21名増員で4名不足。

331複合地区の会員動向

年間新会員：340人 四半期：86名増員 比較的順調

◇会員動向の報告に対する補足等

A地区ガバナー L能澤 正明

清田地区では女性会員を20名増やす。北の杜は支部を4~5持っている。
この方式は有効な方法論として挙げられる。

C地区ガバナー L石岡 憲義

12月9日にチャーターナイトを行う事が決まっております25名の増員となる。
セミナーを開催して、増員の趣旨を伝えたので期末には目標達成出来ると考えている。
ガバナーが1年間役職したことをコーディネーターが目標を達成する。ガバナーが悪者
になって、会員増強について先頭になって話をしなければ増強は出来ない。
クラブのメンバーが10人いるとすれば会員増強を手掛ける人は2割くらいしかいないの
が現状であり、殆どの方がやっていない。

C地区洞爺ライオンズクラブは有珠山噴火の時に会員が12名くらいに減少して存続が
危ぶまれた時期があった。元々のメンバーが存続に向けて活動し、現在は5年連続100名

を超えている（9月末105名）。このようなクラブは人が人を呼ぶモチベーションが高い。

B地区コーディネーター L田村 裕

レオを1クラブ増やしたい。

2) 今後の取り組み

A地区 L末神 裕昭

コーディネーターから失敗例、成功例等、あるいはノウハウを提供して貰いたいという声があり、その情報を集めている段階にある。具体的に全国のベスト5のクラブに直接連絡を取って、何が良かったかなどを聞いている。また、各ゾーン・チェアパーソンに、なぜ退会したのか、なぜうまくいったのかをレポートして下さいと手紙を出している。

B地区 L田村 裕

レオを増やすことに目を向ける。女性会員の増強、2クラブのエクステンションを委員長と協議しながら進める。10月26日コーディネーター会議を実施し、27日にガバナーと打ち合わせをする計画でいる。

C地区 L渡部 義男

ゾーン・チェアパーソンに危機感を持って貰う事と各クラブの会長にやる気になって貰う。その他セミナー等の計画を立てている。

3) その他

毎年6月末に問題が出るので、貯金をしておかななくてはならない。やはり声を大にして会員増強に取り組んでいく。

「出来ない言い訳をしない。」を前提に目標達成するには、成功事例を参考に情報収集をしていく。

なぜ会員増強の目標が達成できないのか

A B C地区ガバナーが公約した目標を単なる「お題目」として捉えている。

会員増強で我々は何が出来るか

- ・最初はライオンズが嫌いだったが、入ってみて良さが分かった。入会する時はマイナス感情を持って入ってくる。そこを理解して会員勧誘をする。
- ・アスクワンは無理。4～5人でチームを
- ・1クラブで2名やめたら補充する。
- ・A B C地区エコー誌に会員増強の投稿をしたい。

ルールとして各地区のコーディネーターが新しく仕入れた情報を流してもらえれば松浦MDコーディネーターが窓口になり各地区に情報を流す。